

自己点検・自己評価報告書

学校法人 高村育英会
国際ペットビジネス専門学校熱海校

平成30年 4月25日作成

学校の教育理念・目的

《 理念・目的 》

☆ 学校法人高村育英会は、観光・医療・ペットビジネスの夫々の業界で「人」にしかできないこと。そのために何よりも大切な「心からのおもてなしの精神」を育むことを建学の精神とし、「3つの教育理念」により「3つの信頼」を得ることのできる人材育成を目的とする。

この理念の遂行の為、理事及び教職員の一人一人が地道な努力を続けることが重要である。次に「学校の特色」については、「働きながら学ぶ」ホテル委託奨学生制度を設け、ホテル旅館でアルバイトをしながら2年間勉学に励む制度を利用して、北は北海道、南は九州から学生を募っている。サービスの現場の理解度も深まることから就職先からの信頼も高く、現場に即した教育方法であり、専門学校としての方向性は十分備わっていると確信している。

また、資格取得と就職を第一目標とし、考えて自ら動く力『孝動力』を身に付け、社会人として誰からも信頼される人材の育成を目指している。

熱海校校訓 「着眼大局 着手小局」

3つの教育理念

人を育てる 〔人間教育〕	現場力を育む 〔実践教育〕	世界を視野に 〔国際人教育〕
将来、社会から必要とされる人材になるよう豊かな人間性を持つ人材を育成します。	どの業界どの企業からも嘱望される知識と行動力を兼ね備えた人材を育成します。	日本と世界を知りINTERNATIONALの名にふさわしい国際的感性を育成します。

3つの信頼

学生からの信頼	保護者・出身校からの信頼	社会からの信頼
将来「本校で学んで良かった」と感謝されるよう、学びの環境を向上させています。	学生の大きい成長と飛躍によって信頼を得られるよう、良好な学校運営を図っています。	輩出した卒業生の活躍によって、社会から高く評価されるよう、質の高い人材育成に努めています。

点検項目別評価表

1. 教育理念・目的・育成人材像等

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①理念目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1
②学校の特色は何か	④ 3 2 1
③学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1

〔現状と課題〕

- ①教育目標、育成人材については就業規則第一条に掲載し、入学案内書・ホームページでその周知徹底を図っている。
- ②熱海市内のホテル・旅館と提携した委託奨学生制度を設けていること。
ペット美容、動物看護、躰を中心にカリキュラムが構成され、ペットビジネスの総合的な技術、知識の習得を行っていること。
- ③業界の動向を視野に入れ、学校の進むべき方向、カリキュラムや授業内容を常に検討している。

〔改善のための方策〕

- ②実践的な授業の構築。アクティブラーニングの実施。
- ③ペットビジネス業界の情報収集。業界関係者(講師)からの情報収集。

〔特記事項〕

2. 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①運営方針は定められているか	④ 3 2 1
②事業計画は定められているか	④ 3 2 1
③人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
④運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	④ 3 2 1
⑤意思決定システムは確立されているか	④ 3 2 1
⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①②運営方針、事業計画は年度末の運営会議・理事会・評議員会で議決されたものを翌年度の方針・計画として定めている。
- ③学校法人の就業規則に、その処遇については明記されており、よく整備され機能している。
- ④学校法人の組織・意思決定機関は、「学校運営会議」「理事会」「評議員会」とそれぞれが効率よく機能している。
- ⑤運営会議→評議員会・理事会と法人の意思決定システムは確立している。
- ⑥教務課、就職課、広報課、財務など事務処理関係においてネットワークで結び通常の業務には全く支障がない。

〔改善のための方策〕

- ⑥パソコンのセキュリティ強化。最新セキュリティソフトの更新。

〔特記事項〕

点検項目別評価表

3. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①各学科の教育目標、教育人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向け、方向づけられているか	④ 3 2 1
②各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らし、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして明確に定められているか	④ 3 2 1
③カリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	④ 3 2 1
⑤授業評価の実施・評価体系はあるか	④ 3 2 1
⑥育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
⑦成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
⑧資格取得の指導体制はあるか	④ 3 2 1
⑨生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか	4 ③ 2 1
⑩付帯教育授業に対する取り組みの組織・体制は明確になっているか	4 ③ 2 1

〔現状と課題〕

- ①本校の育成人材は、総合力を求める業界の人材ニーズに合ったものであり、専門的な知識や技術だけでなく社会人基礎力を身に付けた人材の養成
- ②教育目標である「3つの信頼」を得るために、事業計画書に明確に記載している
- ③④カリキュラムは体系的に編成され、適正に位置づけられている。
- ⑤授業アンケートを学年末に実施しており、講師会により結果を伝え、学生の意見を反映させた変化のある授業展開を考えている。
- ⑥教員は、学科の教育目標に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保し、外部研修などに参加し指導力の向上を図っている。
- ⑦学則及び履修要項に従い厳正に実施している。
- ⑧資格、検定によっては、特別講義や受験対策講座、補習授業を実施している。
- ⑨専門分野に限らず、生涯を通してレクリエーション、スポーツ、地域活動などに参加し、人間性の幅を拡げ仕事に役立てることを学ぶ。
- ⑩付帯教育授業についての組織や体制はまだ確立されていない。

〔改善のための方策〕

- ⑩卒業生に対して学び直しセミナーの実施を検討している。

〔特記事項〕

4. 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①就職に関する目標を達成したか	4 ③ 2 1
②資格取得に関する目標を達成したか	4 ③ 2 1
③退学率の低減に関する目標を達成したか	4 3 ② 1
④卒業生・在校生は社会で活躍し、評価を得ているか	4 ③ 2 1

〔現状と課題〕

- ①目標数値まで到達できなかった。遠方から入学した委託生への支援が不十分であった。
- ②取得率、受験率が低下してしまった。資格の必要性を周知する。
- ③退学者が前年度より増加し、目標は達成できなかった。
- ④卒業生は入社した企業からの評価、在校生は、企業実習終了後の考課表にて評価を確認している。

〔改善のための方策〕

- ①より早く現場を理解するために、早期インターンシップの実施。
- ②資格取得に向けた、夏期講習や補習授業の実施
- ③定期的な個別面談の実施。
- ④企業訪問を実施し、離職、転職などの追跡調査を行う。

〔特記事項〕

5. 学生生活支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
②学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
③学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	④ 3 2 1
④学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	④ 3 2 1
⑤課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	④ 3 2 1
⑥学生寮、学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
⑦保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
⑧卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1

〔現状と課題〕

- ①週一回、「就職ガイド」の授業を実施。履歴書の書き方など就職活動のサポートを行っている。また、個別面談を内定獲得まで繰り返し行っている。
- ②日常的問題は、クラス担任が対応している。定期的に面接を実施、結果を教職員で情報共有し早期問題解決に努めている。
- ③委託奨学生制度・オリентコーポレーション・日本学生支援機構等・資格特待制度・災害被災学生支援制度を導入している。
- ④学校医を置くとともに、全生徒4月の健康診断を実施している。
- ⑤通学路や駅周辺の清掃、学校所在地で行われる祭りやイベントへスタッフとして参加している。学生自治会を設け、球技大会などを実施している。
- ⑥ホテル委託奨学生については、各社員寮を提供している。学校が運営している学生寮はない。
- ⑦定期的な出席状況報告書と定期試験結果報告書を送付している。その他、必要に応じて相談・報告を行っている。
- ⑧専門的な技術や知識の学び直し講座を検討している。

〔改善のための方策〕

- ②専門的な知識を持ったカウンセラーが必要。

〔特記事項〕

6. 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
③防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①美容実習室は整備されているが、看護実習室の整備が遅れている。
- ②校外研修や企業実習を実施。海外研修については実施していない。
- ③年2回の防災訓練の実施と飲料水・非常食・簡易防寒防水ブランケットの準備をしている。

〔改善のための方策〕

- ①看護実習室の改装工事を行った。
- ②インターンシップの日程を年間行事予定に入れた。
- ③防災用トイレを購入した。

〔特記事項〕

点検項目別評価表

7, 学生受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
②就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか	4 ③ 2 1
③入学選考は、適正かつ公正な基準に基づき行われているか	④ 3 2 1
④学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①学校訪問、進路説明会などに参加し対象者と直接面談を行っている。体験入学には、内容に変化を加えながら参加者・リピータ数の増大を図っている。
- ②パンフレットに資格取得率、就職率等をそれぞれ記載し、ガイダンス等で説明している。
- ③AO入試、高等学校推薦、指定校推薦、一般入試(作文試験・面接試験)を実施している。
- ④同分野の他の専門学校と比較しても低額にて、充実した教育内容になっている。

〔改善のための方策〕

- ①中学生対象の職業理解講座の実施を検討している。

〔特記事項〕

点検項目別評価表

8. 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
③財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
④財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①特に問題なく、本学校法人の財務基盤はほぼ適切に安定している。
- ②評議委員会・理事会において議決されたものであって、本学校法人としては適切なものになっている。
- ③2名の監事によって、毎年度適切に行われている。
- ④学内掲示及びホームページにて「自己点検・自己評価」「学校関係者評価」「財務関係」報告書を公開している。

〔改善のための方策〕

- ①広報費や日常経費など、常に費用対効果を考慮し支出を検討する。

〔特記事項〕

点検項目別評価表

9. 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①定員・教員資格等の専修学校設置基準については、守るべき項目は遵守できている。
- ②個人情報に関するデータの校外持ち出し厳禁、PCのセキュリティーに関しても問題なく対応している。

〔改善のための方策〕

- ②常に最新のセキュリティーシステムを導入する。

〔特記事項〕

点検項目別評価表

10. 自己点検・自己評価・第三者評価

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
②自己点検・自己評価結果の公開はしているか	④ 3 2 1
③第三者機関による学校評価を受ける予定・方針は確立されているか	4 3 ② 1

[現状と課題]

- ①評価表を作成し、学校関係者評価委員会後に意見をまとめ改善を行っている
- ②学内掲示及びホームページにて「自己点検・自己評価報告書」「学校関係者評価報告書」を公開している。
- ③第三者評価の実施は現状計画されていない。

[改善のための方策]

- ③第三者評価の体制はまだ未決定である。

[特記事項]